

今年度初めての中央委員会 9月14日開催予定

ふなみち

2021年
8月26日(木)
第3541号

船橋市役所
職員労働組合
発行責任者 青木 賀一
編集責任者 榎 義明
Tel.047(436)3093
fax (436)3091
Eメール
f-kumiai@alpha.
ocn.ne.jp



「コロナ禍の下での開催」ということで、職場からの中央委員の選出は行わず、支部・評議会役員を職場代表中央委員とし、開催することとしました。

参加希望の組合員の方は、中央委員登録を！
組合は、今年度初めての中央委員会を「密」を避けるために、勤労市民センター第1・2講習室での開催を予定しています。
今回の中央委員会は、第85回定期大会を文書決議とすることや役員選挙管理委員会の立ち上げなど、組合規約に基づき開催するものです。

組合は例年、年3回(2・5・9月)中央委員会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度(組合年度)は、昨年度同様一回も中央委員会を開催出来ていません。
しかし、この度新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言下ではありますが、組合規約との関係で、中央委員会を開催することとしました。

一年間の経過報告を中央委員会で提案・決議

例年、第1回中央委員会(2月頃)で秋から年末にかけての活動(秋闘)のまとめと、年明けからの活動(春闘)方針・要求書の決議、第2回中央委員会(5月頃)で、春闘のまとめの決議を行ってきました。

しかし、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、この間の2回の中央委員会を中止し、「ふなみち」にて2月に春闘方針・要求を、5月に春闘と夏季闘争のまとめを文書決議せざるを得ない状況でした。

したがって、9月14日開催予定の中央委員会が、今年度初めての中央委員会となります。

2020年秋の取り組みまとめと2021年春闘のまとめ、2020年度(組合年度)1年間のまとめ、いわゆる経過の部分(通常たたかひの記録に掲載)については、第1回中央委員会(9月14日開催予定)において一括決議とさせていただきます。

「2021年運動方針(案) ふなみち」を11月上旬配布
2021年運動方針(案)の配布を11月上旬に予定しています。
例年「運動方針(案) ふなみち」には運動方針(案)と予算(案)を掲載しています。定期大会が文書決議となった昨年は、決算報告・監査報告についても合わせて掲載しました。

経過報告(通常たたかひの記録に掲載)については、定期大会の次に位置付いている機関会議である第1回中央委員会をもって議決済みとし、決算報告・監査報告・運動方針(案)・予算(案)についてのみ書面決議としました。
第85回定期大会の開催方法等につきましても、中央委員会にて討議の上、書面決議での開催の場合は追って「ふなみち」と詳細については、「運動方針(案) ふなみち」にてお知らせします。



ワンアクション! 不要品を子どもたちの笑顔に!

認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」ではご家庭の不要品の買取金を寄付金とし、途上国の子どもたちにワクチンを届ける専用サイトを立ち上げています。不要品は送料無料です。ご協力をお願いします。

⇒ お申し込みはこちら ▶



買取対象物品の詳細はこちらをご確認ください

お申し込みできない方は下記情報をお送りください(送り先: info@jcv-jp.org)

- ① 回収希望日時 (9:00~13:00 / 13:00~15:00 / 15:00~18:00 / 18:00~20:00)
- ② 箱数 ③ お名前 ④ 郵便番号・ご住所 ⑤ 電話番号



コロナ感染拡大で保健所が大変！ 組合が職場実態アンケートを実施

「残業が夜中の2時まで」なんて考えられません！

組合は、コロナ感染拡大を受け7月26日～8月6日の間、保健所職場が入っている保健センターで職場実態アンケート（ボイスカード）を実施しました。

組合役員が手分けして、19時頃保健センター内の職場を訪問、「ボイスカード」を配布しながら、お話を伺いました。

保健所本部は、狭い部屋に『密』状態で、廊下より暑くエアコンがきちんと作動しているのか気になりました。

その後の聞き取りでも、感染拡大で、「昨年暮れから1月にかけてが一番忙しかつたのですが、今はそれと比較にならない位の状況が続いている」とのことでした。

「残業が夜中の2時頃まで続く

こともあり、会計年度任用職員も22時ごろまで残業している」状況があります。

職場の雰囲気や常に張り詰めていて、切れ目が無い電話、そして1件が長く自宅療養の案内ばかりしなければならず、職場は疲弊しています。

この状態での長時間過密労働は、「肉体的にも精神的にもボロボロ」なのではないかと思われまます。

職場環境の改善を！

職場からは、「インターネットの回線が悪い」「電話を使いたくても空いていない」などの声も聞かれました。

副市長が視察を行ったりもしているようですが、直ぐに改善出来ることは、早急に対処すべきです。

職場実態アンケートを受け、職員課に申し入れ！

組合は、保健センターの職場実態アンケート（ボイスカード）を受け、職員課に申し入れを行いました。

職員課は、「実態は把握している。保健室に仕事を振ったり、他の人で出来ることは仕事を分散している」「コロナ本部には、人をそれなりに投入しているので、数ではなく、教える人がいないのが問題、教える人が必要」という認識でした。

しかし、墨田区では人口27万人に対し、保健所に他課からの応援や派遣職員を100人投入しているとのことでした。

人口64万都市の船橋市の保健所体制がこれで良いのでしょうか？

「教える人が必要」と言っ判断ならば、平時の職員体制に問題が無いのか検証が必要だ。

墨田区では、平常10人の保健師体制で運営しているとのことだ。

「船橋市 行財政改革」の指針では、「5年間正規職員を増やさない」「専門職を一般行政職にまわす」など、考えられない内容になっており、これが踏襲されると市民の命も職員の命も守れない事が危惧されます。

感染力の強いウィルスの出現や地球温暖化による自然災害が頻繁に起きる状況が社会問題になってくる現状を踏まえ、市の施策の変更を強く求めます。

応援に出した職場も疲弊！

アンケートでは、保健所本部以外の職場からも声が寄せられています。

「コロナ本部に職員が異動となり、補充がないまま1年以上経過している。現場レベルの状況は伝えていないが、改善される見通しが全くない。一人一人の業務量が過大となる状況が長期化し、集中力の欠如、エラーの増加が目立ち、職員の疲弊は明らかである。人員配置の見直しや、人員補充を要望したい。」

「コロナ本部ができる前からたくさん時間外の業務を行っているのに、本部の方が大変と言われている人が減らされて、気持ちの面でもつらい。自分たちのいる意味がないと言われているような気持ちになる」

「ただでさえ人員が不足しているのに、同じ保健所だからと言って急に何人も抜かれたらやっていけない。危機的な状況を鑑みた人員配置をしてほしい」など、これは職場の声の抜粋で、ほんの一部ですが、大変な職場の状況が目に見えます。

みんなが大変なんだから、保健所本部はもっと大変なんだから、平時ではない災害時なのだから頑張れ！と言われても限界があります。職員の工夫や頑張りにも頼ることなく、船橋市として職員を守るための具体的な手立てを示すべきです。

あなたの声・職場の声を、組合に届けてみませんか？
【ボイスカード】

- あなたのことを教えてください。
(該当に○をお願いします)
男・女 正規職員・会計年度任用職員・再任用
20代・30代・40代・50代・60代
組合員
- 職場での困りごとなど、ひとりで悩まず声に出してみませんか？また、組合で取り上げてほしいことなど何でも自由に。
*人員が不足している！ハラスメントがある！
こんな職場環境改善を！この職場はココがおかしい！
休みが取れない！残業申請できずサービス残業に！
働き方改革ってナニ？など

ご協力ありがとうございました。

○守衛室前にボイスカードボックス（ピンクの箱）を8月6日（金）18：00まで設置してありますので、期日までに投入してください。

*差し支えなければご記入ください。
課名：
氏名：